

公共事業再評価調書(3回目再評価)

主管課：都市計画・モノレール課

|   |   |            |               |          |
|---|---|------------|---------------|----------|
| 1 事業概要<br><br>(整備目的)                                | 事業名：奥武山公園整備事業   |            | 前再評価年度：平成15年度 |          |
|   | 事業種別：都市公園事業   | 事業主体：沖縄県   | (S47~H19)     |          |
|   | 事業箇所：那覇市  | 根拠法令：都市計画法 | 事業期間：S47~H23  |          |
|   | 総事業費(百万円)：(15,680) 15,209   | 費用内訳：補助1/2 | 事業量：29.80ha   |          |
| 2 再評価該当項目   | <input type="checkbox"/> ① 事業着手から10年を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業着手から5年以内の工事未着手<br><input checked="" type="checkbox"/> ③ 再評価後一定期間(5年)を経過 <input type="checkbox"/> ④ 事業の中止   |            |               |          |
| 3 再評価に至った主な要因(具体的理由)                                | <input type="checkbox"/> ① 用地取得等の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保<br><input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画の長期<br><input checked="" type="checkbox"/> ⑨ その他(計画変更) |            |               |          |
| 4 事業の進捗状況(H20.3月時点)                                 | 項目  | 事業費(百万円)   | 整備率(ha)       | 用地取得(ha) |
|   | 計画  | 15,209     | 28.88         | 28.88    |
|   | 実施済   | 14,509     | 28.38         | 28.88    |
|   | 率   | 95%        | 98%           | 100%     |
| 4-2 前再評価以降の主な進捗                                     | ・芝生広場、駐車場及び北明治橋を含めた周辺の整備完成。<br>・(県)水泳プールの改築工事に平成19年度より着手。(那覇市)野球場の改築工事に平成19年度より着手。  |            |               |          |
| 5 事業効果の評価指標<br><br>(基準年H20)<br>(検討年50年)<br>(単位:百万円) | ①直接便益(旅行費用価値)   | 25,391     | ① 用地費         | 7,131    |
|   | ②間接便益(環境の維持・改善、都市防災)  | 50,334     | ② 施設整備費       | 8,078    |
|   |   |            | ③ 維持管理費       | 1,946    |
|   | 総便益   | 75,725     | 総費用           | 17,155   |
|   | 基準年換算(B)  | 108,634    | 基準年換算(C)      | 31,313   |
|   | 費用便益比(B/C) = 108634 / 31313 = 3.5   |            |               |          |
| 6 事業を巡る状況の変化  | ① 社会・経済：長寿化社会において県民の健康増進がますます重要になっており、日常利用できるスポーツ施設へのニーズは高い状況にある。また、平成22年の高校総体では、水泳競技や硬式テニス等の主会場として利用されることが決まっている。<br>② 地元・自治体：那覇市が建設中の野球場が、読売巨人軍の平成23年度春季キャンプ地と決定した。キャンプの誘致が及ぼす地元経済の活性化に大きな期待が寄せられている。<br>③ 利害関係者：特に問題なし。  |            |               |          |
| 7 事業の必要性や効率性  | ① 事業の必要性・緊急性・有効性など：<br>友愛スポーツセンター跡地の整備や老朽化している施設の再整備を行うことで、より利用者へのサービス向上が図れ、公園の利用促進が期待できる。<br>② 事業の効率性：(代替案等の可能性)<br>当該公園の整備率は95%となっており、今後、老朽化した施設の再整備等が主な整備内容となる。よって、平成23年度の整備完了を目指し、現計画の推進を図ることが効率的である。<br>③ 事業効果の発現状況：<br>平成22年度高校総体では水泳競技、硬式テニス、なぎなた、弓道、柔道の会場となっており、読売巨人軍の平成23年春季キャンプ地に決まったことも発表されている。その他、年間を通じて運動競技やイベント等で多くの利用者が訪れている。  |            |               |          |
| 8 今後の対応方針・見通し                                       | ① 事業計画等：関係機関である那覇市及び県教育庁と調整を図りながら、平成23年度の完成に向け事業の推進を図る。<br>② 対住民関係：問題なし<br>③ 執行体制等：現体制で執行可能である。   |            |               |          |
| 9 対応方針  | <input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止   |            |               |          |
| 10 その他<br>(前回再評価での主な意見等)                            | 特になし  |            |               |          |